

提出日 2025 年 9 月 15 日

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス、観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	元々留学自体には少し興味があり、一部の先生方からも勧められてはいたのですが、たとえグループ型で先生方の引率があるとしても、現地での授業や生活をそつなくこなせる自信がなく、なかなか一歩を踏み出せずにいました。しかし、一部のクラスメイトからの激励により、どうしようか気持ちに迷いができました。両親には反対されましたが、先生方の説得もあり、最終的に背中を押してくれました。これらを無駄にしないよう、現地での生活の満喫だけでなく、授業や他の活動にも意欲的に取り組み、危機管理も徹底し、全てにおいて今まで以上の自信をつけようと決心しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	オーストラリア、ウーロンゴンでの生活は、自分にとって非常に居心地が良かっただけでなく、今まで見たことのない景色、現地の人々との関わり、そして日本とは一味違った授業によって、非常に刺激的な時間も過ごせたと確信できます。まず、授業は午前中のみで、私が所属したクラスでは、いくつかの表現の言い換えや、それぞれのテーマをもとにしたディベート、そして寸劇など、多岐にわたるジャンルで行われました。また、生活面に関しては、午後の自由時間に町にあるショッピングモールに買い物に出かけたり、休日にはホストファミリーの方とシンディーに出かけたりしました。
3. 留学の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回のオーストラリアでの研修を通して、これまで得られなかった様々な知識を得られました。まず、オーストラリアで一般的なのかは定かではありませんが、私のホストファミリーは室内も土足で、これは日本では絶対にあり得ないことですが、思いのほか抵抗はなく、すぐにその習慣に馴染めたことに自分でも少し不思議に思いました。また、オーストラリアには、家を空けているときは部屋のドアを開け放しにする習慣もあり、これは不在であることを周りに伝えるためだそうです。それから、現地では水不足が深刻な課題となっていますが、私のステイ先では水道に関する細かいルールなどはなかったのも、とても安心したと同時に、ホストファミリーにとっても感謝しています。また、いままで以上の自信をつけるという目標ですが、大学の先生方やクラスメイト、ホストファミリーとの交流、寸劇やディベートを活用した授業、そして現地に関する新たな知識によって、かなりの自信がついたと感じた4週間となりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回現地で得た経験は、私にとって決して忘れることのできない、特別な思い出になったと断言できます。先生方や家族、周りの人々の応援があったからこそ、このように素敵な経験ができました。そしてそこでつけた自信は、日本の授業で頻繁に行われるプレゼンテーションや、ディスカッションなどに活かし、普段の生活でも、まだ挑戦したいことがあるので、それにも何らかの形で活用できるかも知れないと感じました。とにかく挑戦したいことがあれば、まずはやってみることが、この海外研修での経験を活かす一つの方法だと改めて思いました。
5. 自由記述	このような貴重な経験をさせて下さった神戸国際大学の先生方、背中を押してくれた家族、そして、楽しい思い出とともに作ってくださったオーストラリアの皆様、本当にありがとうございました！

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	経済経営	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ~ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は将来ウェディングプランナーを目指していて、もし海外のお客様を担当した時にウェディングプランナーにとって1番必要なコミュニケーションをちゃんととれるようになるために英語を上達したかったのと、私はまだ海外に行ったことがなかったので、日本とは全く違う文化を知りたくて参加しました。目標としてはホームステイだったので日常会話を完璧にし、ホストファミリーとのコミュニケーションをちゃんととれるようにすることでした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	まず授業に関しては、平日の朝8時半から始まり昼の12時まで授業があり途中30分の休憩時間があります。授業内容は主にプリントを用いた授業で、洋楽を聞いて英語の歌詞の穴埋め問題をするのでリスニングの授業や、海外の新聞記事を読んで問題を解く、リーディングの授業をします。時には英語を用いたゲームなどをしたり、とても楽しく授業ができます。生活面では、平日は午前中に授業が終わるので、その後友達とランチを食べショッピングモールに出かけたり、大学の体育館で他の学生と一緒にバスケやバレーなどのスポーツを楽しんだり、大学のジムで筋トレをしたりして過ごしました。週末は毎週シドニーに訪れ、様々な観光地に行ったりショッピングなどを楽しみました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	目標の達成度に関しては元々ホストファミリーと難なく会話できるようになることが目標だったのでそこに関してはある程度達成できたかなと感じます。留学が始まった最初の頃は英語が喋れない上にホストファミリー達の喋るスピードが早かったので全く聞き取れず、明日の朝何時に家を出るかも上手く伝えることの出来ない状況でした。僕はそれが悔しかったので、そこからはどれだけ分からなくても積極的にホストファミリーに話しかけ、分からない単語があったらすぐに携帯で調べるということを続けたら、最終的には翻訳機なしでも会話をできるようになりました。次に新しく発見したことはオーストラリアの人達はyouをyaと発音することです。オーストラリアに来たばかりの頃スーパーマーケットに行ったらレジを終わらせた時店員さんにSee yaと言われなんの事かと調べてみたらSee youだったのもとても驚きました。そして新しく感じたことはオーストラリアの人達はとても親切で穏やかな人が多いということです。私は初めての海外で多少は英語が喋れないことで差別されることや呆れられることを覚悟していましたが、実際行ってみると、英語が滅茶苦茶でもちゃんと聞いてくれて真摯に対応してくれたのもとても嬉しかったです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私が今回の留学で1番身についたことは何事も挑戦してみるチャレンジ精神です。自分が英語が苦手だからといって、英語を使う場面からわざと逃げたりせず、積極的に英語を使うことに挑戦したからこそ身についたことだと思います。なのでここで身につけたチャレンジ精神を日本でも存分に発揮していきたいと思います。例えば大学の授業で少し興味があるけど難しそうだからと諦めるのではなくあえて受講してみたり、今まで全く触れてこなかった株を勉強してみたりしたいです。そしてこれからはグローバルの時代なので、世界共通言語の英語を完璧に身につけるために、留学で身につけた英語をもっと伸ばしていきたいです。
5. 自由記述	今回の留学は私にとって人生で忘れられないとても貴重な体験になりました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(オーストラリア)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は英語力を向上させ、将来の就職に役立てたいと思い留学を決めました。実際に海外で生活することで英語を使う機会が増えるので会話や対応力を身につけたいと考えました。また、異文化に触れることで新しい価値観を学び、自分の視野を広げたいという気持ちもありました。日本とは違う習慣を学び、自分が当たり前だと思っていたことが必ずしも世界では同じではないことに気付きたいと思いました。英語が上達し日本に帰ってきた時聴き取れることを目標に頑張りました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	平日の午前中は英語の授業に参加し、スピーキング力やリスニング力、さらに発音の改善に取り組みました。授業ではディスカッションやプレゼンテーションの機会もあり、実践的に英語を使う力を高めることができました。午後は地元の名所を訪れたり、大学での英会話練習やスポーツ活動を通して現地の学生との交流を深めることができました。ホームステイ先では、家族と一緒に家事を手伝ったり映画を鑑賞するなど、積極的にコミュニケーションを図りました。週末にはシドニーで買い物や観光を楽しんだほか、ホストファミリーが地元の名所や散歩に連れて行ってくれる機会もあり、地域の生活や文化に触れることができました。また、授業の一環としてバーベキューや動物園を訪れ、オーストラリア特有の自然や動物、食文化に触れる貴重な体験となりました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	行く前に比べると、英語のスピーキングやリスニング力は大きく向上したと感じました。文法はまだ課題がありますが、単語力は増え、表現の幅が広がったと思います。最初は英語を話すことに自信がありませんでしたが、大学での授業やホームステイ、注文時の会話を通して自信を持ち、積極的にコミュニケーションを取ることができました。オーストラリアでは日本と違い土足でも大丈夫なことや、水不足によりシャワー時間が短かったり、洗濯頻度が少ないことに驚きました。現地の人々はとても親切で明るく、バスや電車は安く利用できました。バスは時間通りに来ないこともありましたが、二階建て電車は快適で、自転車を乗せられることにも驚きました。みんな陽気で、最後の食事では多くの方々が集まり、とても賑やかでした。今回の留学を通して、英語力や異文化理解を深めるとともに、価値観や考え方の幅を広げることができました。これらの経験は、今後の学習や将来の国際的な活動にも活かしていきたいと考えています。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学を通して身につけた英語力や異文化理解を、これからの学習や将来の仕事に活かしていきたいと考えています。帰国後も英語を積極的に使い続け、実用的な力をさらに伸ばすことで、国際的な場面でも自信を持って対応できるようになりたいです。まだ英語が十分に上手とは言えませんが、自分の成長や将来の可能性を広げるため、個人でも継続的に学習していきたいと思っています。就職先はまだ明確ではありませんが、留学経験を通して視野を広げ、将来の選択肢を増やししながら自分の理想のキャリア像を築いていきたいです。
5. 自由記述	留学を考えている人は一度でいいから行くべきだと思います。価値観が変わります。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ~ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は幼い頃から英語を習っており、海外の文化や言語に興味がありました。また将来は国際的に活躍できる航空業界に勤めたいと考えています。そのために必要な英語力や異文化理解、コミュニケーション能力を高めるために今回留学することを決めました。実際に現地で生活して学ぶことで、日本では経験できないような英語の表現方法や価値観に触れ、自分自身の視野を広げたいと思いました。将来はこの経験を活かして航空業界で活躍できる人材になりたいと考えています。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	まず授業を通して、英語の基礎的な知識をゲームやクラスメイトとの交流から学びました。またホストファミリーとの日常会話で家庭での英語の使い方や文化の違いを学ぶことができました。現地の方の英語を実際に聞くことでリスニング力が上がったと感じています。放課後や休日は友達とシドニーなどの観光地へ行き、買い物や外食の際に店員さんと英語で会話するなど日常の中で英語を使用しました。1ヶ月を通して語学力はもちろん、コミュニケーション能力が向上したと思います。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	留学で1番の成果はコミュニケーション能力の向上です。最初は自分の言いたいことが上手く伝えられず戸惑うこともありましたが、生活していくうちに少しずつ自分の意見をスムーズに伝えられるようになりました。学校やホームステイ先、街中など、あらゆる場面で英語を使用するので日常的にネイティブの英語を聞く機会が多く、リスニング力が特に向上したと思います。またオーストラリア人の人柄の良さも感じました。初日にバスを間違えてしまった時、運転手の方や通りすがりの方が親切に正しいバスの番号を教えてくださいました。またホストファミリーも積極的にコミュニケーションをとってくれたおかげで楽しい日常が過ごせました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で身につけた英語力や異文化理解を、今後の様々な経験に活かしていきたいと考えています。海外で過ごすことによって異なる考え方や価値観に触れ、それに柔軟に対応することの大切さを学びました。また留学で身につけたコミュニケーション能力や語学力は今後の大学生活はもちろん、卒業後の進路にも役立たせていきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は、英語力を高めることと、異文化に触れることで視野を広げることです。授業で学んだ知識だけでなく、現地で生活しホストファミリーなど人と交流することで、実践的な英語を身につけたいと考えました。また、日本とは異なる文化や価値観に実際に触れることで、自分の考え方を見直し多様性を尊重できる柔軟な視点を持てるようになりたいと思いました。さらに、留学経験で得た学びを将来の就活などに活かし、自分の成長に繋げたいという目的を持って参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	留学中の授業と現地での生活を通して、英語力と異文化理解を深めました。授業では発音練習や会話、ディスカッションに加え、プレゼンテーションなど意見を出す機会が多くあり表現力や自信を高めました。自分の意見を伝えることで、考えを整理し相手に理解してもらう嬉しさや大切さに気づき、主体的にコミュニケーション力が身につきました。ホストファミリーとは毎日の食事での会話や休日のお出かけ、誕生日会の参加を通して文化の違いを学んだりネイティブスピーカの英語を学びました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	留学を通して、英語力は毎日英語で会話をする中で身についたと実感しています。授業では自分の意見を伝える機会が多く、積極的に発言する自信ができました。現地ではバスに乗り間違えた際に教えてもらったり、道やどのバスに乗るかわからなかったときは自分から近くの人に尋ねて助けてもらったりしました。現地の人に話しかけてもらう機会も多く、日常会話を通して英語力を高めることができました。「明日シドニーに行く。」と話すとおすすめの場所を教えてもらえるなど、たくさんの優しさに触れ、積極的にコミュニケーションを取る大切さを学びました。こうした経験を通して、語学力だけでなく主体性や柔軟な思考も身につけ、将来に向けて大きな自信を得ることができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で培った英語力や積極的に発言する姿勢を、今後の学業や進路に活かしたいと考えています。特に、英語力をさらに高めて資格取得に挑戦し、自分の英語力を客観的に証明できるようにしたいです。大学の授業では、ディスカッションなどに積極的に参加し、留学で得た自信を実際の行動に繋げていきたいです。また現地で学んだ積極的にコミュニケーションをする大切さを忘れず、異なる文化や価値観を持つ人と関わりながら柔軟な視野をさらに広げていきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は将来、国際的な環境で活躍できる人材になりたいと考え、オーストラリアのウーロンゴン大学に留学することを決意しました。英語力を高めることはもちろん、異文化の中で生活し、多様な価値観を持つ人々と交流することで、自分の視野を大きく広げたいと思っています。また、ウーロンゴン大学は教育水準が高く、実践的な学びができる環境が整っているため、専門的な知識やスキルを身に着ける絶好の機会だと思いました。留学中は授業やアクティビティーに参加し、学問的な成長だけでなく、人間的にも成長することを目標にしています。最終的には、この経験を活かし、国際社会に貢献できる人材になることを目指しています
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での活動内容としては、授業ではグループディスカッションが非常に多く行われました。テーマに沿って意見を交換するだけでなく、グループで英語を使ったゲームをする機会も多く、楽しみながら英語を実践的に学ぶことができました。生活面に関しては、私はオーストラリアでの生活に慣れていたこともあり、大きな戸惑いや困難はありませんでした。その中で改めて強く感じたのは、人々のフレンドリーさです。こちらから気軽に話しかけても、相手は自然に笑顔で応じてくれるので、日常的に英語を使うハードルは低く、とても過ごしやすい環境でした。このような経験を通じて、積極的に英語を使う姿勢の大切さを学びました
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	私はオーストラリアのウーロンゴン大学に一月間留学しました。短い間でしたがたくさんの経験ができました。最初の目標は「現地の人やほかの留学生と英語で話すこと」だったのですが、授業や普段の生活の中で友達とコミュニケーションをとることができ、少しは達成できたと思います。特にグループワークで自分の意見を英語で伝えれたときはとても嬉しかったです。以前オーストラリアに行ったことがあったので、人々がフレンドリーだということは知っていましたが、実際に経験したこともあります。それでも今回の留学では、授業や日常生活の中でさらにその温かさを感じる場面が多くありました。この一月間は本当にあっという間でしたが、自分にとって大きな自信につながりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学で英語を話すことに対する抵抗がなくなったので、大学の授業や友達との会話でも積極的に使いたいです。また、違う文化を持つ人たちと関わる経験を通じて、異なる価値観や考え方を理解できるようになりました。留学での経験を通じて自分から行動することの大切さを実感したので、今後も臆せず挑戦していきたいと思います。将来的に海外での仕事や国際的なプロジェクトに挑戦する際にも、この経験を活かしたいと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学しようと思った理由は、元々海外に興味があり、外国の文化や生活にふれてみたいと思ったからです。実際に行くことで本当の姿を知り、視野を広げたいと考えました。また、異文化を知ることは自分の成長につながり、考え方を広げてくれると思います。さらに語学力を高めることも大きな目的です。学校で学んだ英語を実際に使うことで、自信をつけられると考えました。現地での生活を通して自立心や行動力も身につけたいと思い、留学を決めました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	オーストラリアでの留学中、授業ではカファートをたくさん活用して学習しました。クイズ形式で取り組むことで楽しく英語を覚えることができました。また、クラスメイトと一緒にBBQに行く機会もあり、普段の授業とは違う雰囲気での交流を深めることができました。授業ではスピーキングを中心に多く話す時間が設けられていたため、自分の意見を英語で伝える練習になりました。ディスカッションや発表の場面も多く、最初はうまく話せず不安もありましたが、繰り返し挑戦することで少しずつ自信ができました。その結果、日常会話も積極的に参加できるようになり、実際に英語を使う楽しさを強く感じることはできたのは大きな成長だと思います。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	オーストラリアでの留学では、最初に掲げた目標は積極的に英語を使い、自分の力で会話を楽しめるようになることでした。授業ではゲームを取り入れた学習やグループ活動が多く、自然と発言の機会が増えました。間違いを恐れず話してみること、少しずつ言葉が出るようになり、自分の成長を実感しました。授業外ではクラスメイトと出かけたり、現地の人々と交流したりする中で、多様な考え方や習慣に触れることができました。日本では当たり前と思っていたことが、オーストラリアでは違う価値観として受け止められている場面も多く、その違いがとても新鮮でした。また、自然の豊かさやゆったりとした時間の流れを感じることで、学び以外にも心がリフレッシュされました。留学を通じて英語力だけでなく、人や環境から学ぶ姿勢を持つことの大切さを発見できたと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は留学で得た経験を、これからの学びや将来の進路に積極的に生かしていきたいと考えています。まず、英語力や異文化理解の力をさらに伸ばし、大学での学習や将来の仕事で国際的に活躍できるように役立てたいです。留学中に培った自立心や行動力は、新しい環境に挑戦するときの大きな支えになると思います。また、現地で出会った人々との交流を通じて築いたネットワークを大切にし、グローバルな視点から物事を考える習慣を持ち続けたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 18 日

海外留学報告書

【参加者H】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	まずは、私は人生で一度も海外に行ったことがなかったので、海外はどんな感じだろうという興味から始めました。季節や気温、人柄や街並みは日本とはどのように違うのかが知りたいと思いました。私は高校生の時に他言語でコミュニケーションをとることの楽しさを知り、もっと英語を喋れるようになりたいと思ったので今回の留学に参加しました。現地の人は普段どんな英語を使い、どんな会話をするのかを知りたいと思いました。さらに、日本で英語の勉強をしてきましたが、教科書や文法重視の授業だけでは頭に入らず、英語に対してマイナスな印象が大きかったです。なので現地の人と話したり、生活の中で自然に英語を使ったりすることで、英語に対しての印象も変わり、もっと学びたいと思えるようになれるんじゃないかと思ったのも理由の一つです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では、ウーロンゴン大学に通い、色んな都道府県から来た日本人の学生と共に英語の授業を受けました。授業ではグループ活動やペアワークをしたり、ゲームをしたりして英語を勉強しながらも楽しく授業を受けることができました。放課後には学校から近い、フリーパスで行くことができるウーロンゴンセントラルというショッピングセンターによく行きました。服を買ったり、お昼ご飯を食べたり、お土産を買ったりなど、とても思い出深い場所の一つです。また、ホストファミリーと家族揃って夕食を食べながら日常会話を楽しみ、生活習慣や文化の違いを学ぶことができました。週末にはシドニーへ行くことが多く、オペラハウスやハーバーブリッジなど有名な観光地を巡ることができました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学の目標は、英語を使うことに慣れて自分から話せるようになることでした。実際に挑戦してみて、言葉に詰まったり間違えたりすることもありましたが、それをきっかけに相手が優しく教えてくれる場面も多く、失敗すること自体が成長につながると実感しました。これは日本での勉強では得られない経験でした。また新しく発見したのは、完璧な文法を話すよりも簡単な単語や伝えようとする姿勢を大事にしてくれるという点です。うまく話せなくても、表情やジェスチャーを交えれば伝わりやすくなります。そして新しく感じたのは、生活の中にも自然が多いことです。広い公園や大学内にはすごく綺麗な木々たちやホームステイ先の最寄りの駅はとても海が近く、見に行っていました。また、日本では見たことがない鳥がいて、聞いたことがない鳴き声が聞こえてきました。街を歩けばいつでも犬が水分を取れるように水が置いてあったりなど考えられていました。日本とは違ってオーストラリアは動物にとっても優しい国だなと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で得た経験を、これからの生活で少しずつ役立てて行きたいと思います。特に、間違えても気にせず話してみることが大事だと気づいたので、大学の授業や日常の中でも英語を使ってみたいです。また、現地で出会った人たちのフレンドリーさや考え方の違いに触れたことで、日本でもそのフレンドリーさを取り入れることができればいいなと思ったので、どんな人とも積極的にコミュニケーションをとっていこうと思いました。今後は、学びや人との関わりの場面で、まずは受け入れてみるという姿勢を意識していきたいです。
5. 自由記述	短い期間でしたが、1ヶ月間も日本を離れたことがないのに、人生で初めての海外で、文化も違い言葉も通じない初対面の人の家で暮らすことは容易なことではありませんでした。そのため、この経験はとても私を強くしたと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 18 日

海外留学報告書

【参加者1】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	オーストラリアに滞在している小学校時代からの友人の勧めや、海外の文化、生活などが日本とどのように違うのかが気になり、自分の目で世界を確かめるために今回の留学に応募した。そして、現地の人たちととにかく会話をすることを目標にし、知り合った人たちと連絡先を交換することももう一つの目標にした。ほかにも今回の留学で海外での生活の基礎を身に付け、今後もう一度海外研修に参加する場合への経験値としても必要だと思い応募した。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	ホームステイ先の近隣の方々とも毎朝挨拶するなどを心がけ、現地大学生とのコミュニケーションも積極的に取り会話だけでなく、スポーツや食事などでも交流を取り連絡先も交換することができた。授業ではAlex先生やCaroline先生の丁寧でわかりやすい指導や楽しいミニゲーム、他大学の方々との交流がメインだった。生活面ではホストファミリーの方々とのコミュニケーションや食事、映画鑑賞などにより、交流を深めて行くことができた。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学で様々なことが身についた。英語での日常会話や、レストランなどでの注文、近隣の方々との世間話などをすることができた。例えば、スーパーやレストランでの Have a good day! と言われたときの Thanks you too! などのかえしを自然とできるように気を使い、無意識に返事することができるようになったり、近所に住んでいる庭の手入れをしている人にNice garden! と話しかけることもできた。また、オーストラリア留学で気づいたことは現地の人たちはにぎやかで温かく、道案内なども、分かりやすくゆっくり話してくれたり、優しくとても居心地がいいと感じ、もっとこの人たちと会話がしたいと思った。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回のオーストラリアでの留学経験は、自分自身の英語力をもっとレベルアップさせ、もっと話せるようになり、オーストラリアに戻ってまたホストファミリーと再会して話したいと思えるモチベーションになった。これからもっと英語の勉強をして英語だけの映画を見たり、海外の洋楽なども聴き取ることができたり、実際に現地の方々との会話ができるレベルになり、ほかのセメスター留学やこれからのバイトや就職活動で活用できるようにしたい。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者J】

所属	経済	学部	経済	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学を決意した理由は、大きく分けて2つあります。1つ目は、将来自分のアパレルブランドを立ち上げたいという夢のためです。海外で生活することで、多様なファッション文化や人々の好みを肌で感じ取り、それを自分のブランドに活かしたいと考えていました。2つ目は、新しいことに挑戦し、自分自身を成長させたいという思いです。異なる価値観や考え方を理解することで、自分の視野を広げ、柔軟な発想を身につけたいと考えていました。実際に留学を終えた今、こうした経験や学びは自分の大きな財産となり、将来の活動や夢の実現につながると実感しています。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での授業は常にオールイングリッシュで行われ、最初は聞き取ることに苦労しましたが、徐々に慣れて積極的に発言できるようになりました。日本人の学生ともあえて英語で話すように心がけ、英語を使う環境づくりを徹底しました。生活面では、部屋に閉じこもる時間をできるだけ減らし、ホストファミリーと会話をしたり、一人でも外に出て街や自然に触れるようにしました。その中でオーストラリアの文化や人々の価値観を知ることができ、教室だけでは得られない学びを多く得ることができました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	留学を通して、当初の目標であった視野を広げることや、アパレルに関する新しい発見を得ることができました。特に印象的だったのは、服装に対する人々の捉え方です。どんな格好をしていても周囲の目を気にする必要がなく、むしろ道を歩いていると「Lovely style」「Stylish」「I love your style」などと声をかけられ、良い意味でファッションを自由に楽しめる文化を実感しました。その中で木陰で出会った人々とファッションについて語り合う機会もあり、スタイルの幅広さや価値観の多様さを肌で感じることができました。また、生活面では公共交通の仕組みに驚きました。利用料金には1日の上限があり、それ以降は無料で利用でき、さらに街中を走るバスは無料で乗れることもあり、日本とは大きく異なっていました。さらに電車内には自転車をもそのまま持ち込めたり、街では電動バイクのような乗り物を多く見かけたりと、交通に対する自由な考え方が印象的でした。こうした経験を通じて、挑戦や価値観の理解という目標を確かに達成できたと感じています。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学を通じて、失敗を恐れる気持ちがなくなり、挑戦することの大切さを学びました。英語で話すことが下手でも続ければ必ず上達するという実感を得て、そもそも話さなければ上手にならないと気づきました。そしてこれは英語に限らず、あらゆることに共通すると感じました。恥ずかしがって行動をためらう時間こそ無駄であり、まず挑戦してみることで道は開けるのだと思います。今後はこの経験を自分のアパレルブランドや、さまざまな挑戦に活かし、恐れず行動し続けたいです。
5. 自由記述	今回の留学を通して、自分の価値観や考え方が大きく広がり、挑戦することの大切さを学ぶことができました。英語力だけでなく、失敗を恐れずにまず行動してみるという姿勢を身につけられたのは、先生方のサポートや温かい励ましのおかげです！現地での経験を自分の将来につなげることができるのも、常に背中を押してくださった先生がいたからです！本当に感謝しています！ありがとうございます！！

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者K】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	元々海外に興味があり、一度は海外で生活してみたいという夢がありました。さらに、周りに留学を経験した人がいたこともあり、その話を聞くうちに、自分も挑戦したい気持ちが強くなりました。語学力を伸ばすことはもちろん、私は人に自分から声をかけることがあまり得意ではないので、この留学では勇気を出して積極的にコミュニケーションを取ることを目標にしました。英語が完璧でなくても、自分の気持ちを伝えることを大切にし、この経験を通して人として成長し、新しいことに挑戦したいと思い留学することを決めました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	平日は毎日学校に通い、英語の授業を受けました。授業では、ペアワークやグループワーク、プリント学習、ゲームなどを通して、英語を学びました。ときには、BBQや動物園に行ったりするイベントもあり、クラスメイトや先生と仲良くなるきっかけになりました。放課後は、友達と買い物に行ったり、観光をしたりして楽しみました。家では、ホストファミリーとご飯を食べたり、映画を見たり、ペットと遊んだりしました。休日は、シドニーなど少し遠出して観光を楽しみました。日本とは違う生活習慣や文化に驚きながらも、毎日が新しい発見でとても楽しい時間を過ごしました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学で一番感じたことは、何事も挑戦することの大切さです。英語を聞き取ることができたとしても、言葉が出てこなかったり、発音の違いで伝わらなかったりして、悔しい思いもしました。でも、単語だけでも話してみると意外と伝わることもあって、勇気を出して話すことの大切さを実感しました。途中でホストファミリーが変わったときは不安もありましたが、思い切って話しかけるうちに少しずつ打ち解けることができ、最後は自分なりにしっかりと楽しめました。英語はまだですが、人と話すことの恐怖心が薄れ、自信がついたと思います。本当にやらない後悔よりやる後悔だと感じました。挑戦してみることで、得られる学びや成長が沢山あるということを実感しました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私はこの留学で、怖がらず積極的に行動することの大切さを学びました。私は人見知りで自分から人に話しかけることが苦手でしたが、勇気を出して行動することで楽しい時間や、新しい出会いがあるということが分かりました。これからは、英語に触れる機会を前より増やし、英語力を高めたい、もっと色んな挑戦をしたいと思います。失敗を恐れず挑戦を続け、この経験で広がった視野を大切にし、将来の夢を叶えられるように努力していきたいと思います。
5. 自由記述	なかなかできない貴重な経験ができ、本当に大切な思い出ができました。また留学に挑戦したいです。支えてくれた周りの人に感謝しています。ありがとうございました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者I】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ~ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学を決意した理由は、異文化に触れて自分の視野を広げ、柔軟な考え方を身につけたいと思ったからです。海外での生活や学びを通して、多様な価値観や習慣を知ることが、自分自身の成長につながると考えました。また、理学療法士(PT)を目指すうえで英語を話せることは大きな強みになります。英語力があれば最新の研究や海外の文献に直接触れることができ、知識をより深められます。さらに、外国籍の患者さんとのコミュニケーションにも役立ち、より幅広い場面で信頼される理学療法士になれると考え、留学を選びました。
2. 現地での活動内容	オーストラリアでの生活は、私にとって貴重な経験となりました。ホームステイ先では、家族と一緒に食事をしたり日常の会話をしたりする中で、自然な英語表現や文化の違いを学ぶことができました。日本とは異なる食生活や生活習慣に最初は戸惑いましたが、次第に慣れて楽しめるようになりました。授業では、積極的な発言やディスカッションが重視され、自分の考えをはっきり伝える力が求められました。最初は緊張しましたが、クラスメイトや先生がフレンドリーで助け合いながら学ぶ雰囲気があり、自信を持って参加できるようになりました。こうした経験は、語学力だけでなく積極性や柔軟性も育ててくれました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	オーストラリアの文化に触れて、新しい多くの発見がありました。まず驚いたのは、人々のフレンドリーさです。スーパーやバス停など日常の場面でも知らない人同士が自然に会話を交わし、笑顔で挨拶をする光景は、日本ではあまり見られないものでした。また、時間に対しても日本ほど厳格ではなく、ゆったりとした雰囲気で人々が生活していることに新鮮さを感じました。さらに、授業やディスカッションでは、自分の意見をしっかり主張することが尊重される文化があり、相手の考え方の違いを受け入れる姿勢が印象的でした。食文化でも、バーベキューが人々の交流の場として大切にされていることや、多文化社会ならではの多様な料理に触れられたことは大きな発見でした。これらの経験を通じて、異文化理解の重要性を実感しました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	オーストラリア留学で得た経験は、今後の生活に大きく活かせると考えています。英語力の向上により、海外の研究や文献に直接触れて学びを深められるだけでなく、将来理学療法士として外国籍の患者さんとも円滑にコミュニケーションが取れるようになって感じています。また、現地で培った積極性や異文化を尊重する姿勢は、幅広い人々と信頼関係を築くうえで役立ちます。さらに、異なる価値観を柔軟に受け入れる力は、日常生活でも人間関係を豊かにし、自分を成長させ続ける基盤になると思います。
5. 自由記述	初めての経験や学びを得ることができた留学でした。2.3年生になるとリハビリに特化した留学もあるので、そこらにも参加するためにさらに英語力を身につけたいと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 19 日

海外留学報告書

【参加者M】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 留学した理由、目的・目標	元々海外に興味がありましたが、なかなか怖くて一歩が出ずにいました。しかし、このプログラムを知って1人で飛行機に乗ったりするわけではなく、団体で行くので少し安心でき、行くことにしました。また、海外の生活にも触れてみたいと思っていたからです。現地での生活を経験することによって日本との違いも実感することができまし、その国での文化をより深く知ることができるなと思いました。目的・目標は、英語から今まで逃げてきたので、しっかりと向き合って身につけることです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	平日は午前中だけ授業を行い、午後からは自由時間でした。その自由な時間で買い物に行ったりご飯を食べたりしていました。シドニーへ少しだけ行っている人も何人かいました。休日の土曜日と日曜日は、シドニーへ観光やお買い物に行ったり、ホストファミリーの人とドライブや釣りなどにいきました。研修校のプログラムで僕たちはSymbio zooという動物園に行きました。研修校で知り合った学生の人とジムへ行ったり、どこかに出かけたりしている人もいたりしました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	目標の達成度は、少し達成した程度に感じています。理由は、思っていたよりも4週間で英語が身に付かず単語が出てこなくて調べることがよくあったからです。留学に行って最初の頃は単語だけで、接続詞などはなくてもある程度伝わるかと思っていましたが、意外と違う意味で伝わってしまうことがありました。それでも、ある程度のニュアンスで相手側が理解してくれるということも多かったです。他には単語を理解して話そうとするのですが、発音が違うため同じ言葉でも伝わらないということがありました。ただ単語を覚えるだけじゃなく、発音もしっかりと覚えないと相手に伝わらないということを学びました。留学に行って、発音が1番と言っているほど大事ななと感じました。他には、お箸を使う文化がない国なので、お箸すらないと思っていたのですが、想像よりお店にお箸やお寿司や日本のご飯が食べられるお店があり、日本の食文化が広がっているんだなと感じました。ご飯の値段がとても高くてすぐにお金が減って行くので、国にもよりますが、しっかりと調べてお金を持っていこうと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	海外の人と話すときに日本語ではなく英語で頑張るなど、少しでも英語が身につくように努力して今後また海外に行く時まで、調べなくても話せるレベルを目指そうと思いました。また、当たり前のことですが、国によって食生活や普段の生活は異なっており、実際に体験することによって海外の人をより受け入れることができるのではないかなと思ったので、他の場所にも行ってみたいなと思いました。さらに、単語を覚えるのはもちろんなのですが、しっかりと発音できるように勉強して相手に伝えられるようにしていきたいと思いました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ 1～5 のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができている。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

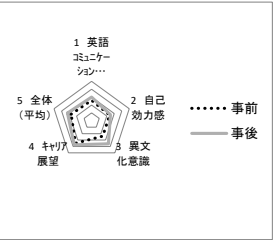
4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

- 自分の適性や能力にあった仕事が何か理解している。
- 自分が就きたい仕事が明らかになっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

アンケート結果 夏期英語研修(グループ型)(ウーロンゴン大学) 対象:13名

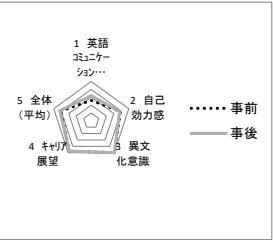
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	3.0
2 自己効力感	2.4	2.5
3 異文化意識	2.4	3.6
4 キャリア展望	3.5	3.8
5 全体(平均)	2.7	3.2



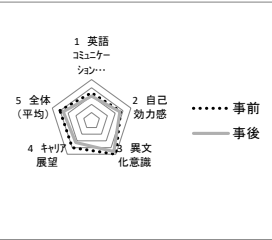
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	3.2
2 自己効力感	3.9	3.8
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.8	4.8
5 全体(平均)	4.1	4.2



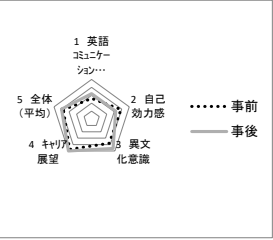
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	3.0
2 自己効力感	3.7	3.6
3 異文化意識	5.0	4.6
4 キャリア展望	4.0	3.3
5 全体(平均)	4.0	3.6



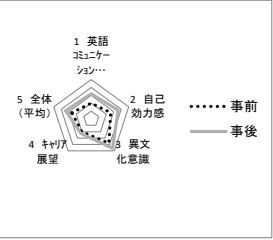
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	3.2
2 自己効力感	3.9	3.2
3 異文化意識	3.8	4.6
4 キャリア展望	4.8	5.0
5 全体(平均)	3.8	4.0



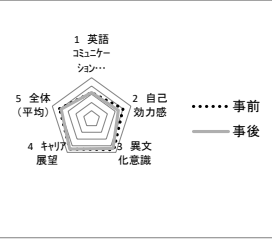
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	3.2
2 自己効力感	2.6	3.6
3 異文化意識	3.8	4.6
4 キャリア展望	2.0	2.3
5 全体(平均)	2.6	3.4



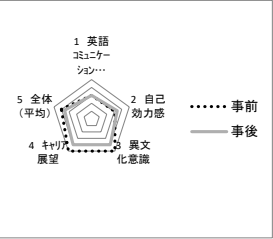
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.2	3.2
2 自己効力感	4.0	3.4
3 異文化意識	4.6	4.4
4 キャリア展望	4.5	4.5
5 全体(平均)	4.1	3.9



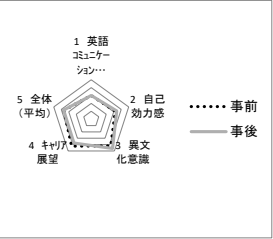
【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.0
2 自己効力感	3.1	3.4
3 異文化意識	5.0	4.0
4 キャリア展望	5.0	4.0
5 全体(平均)	4.0	3.6



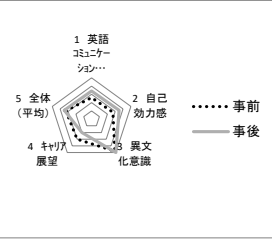
【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.0
2 自己効力感	3.2	3.4
3 異文化意識	4.2	4.6
4 キャリア展望	4.3	3.8
5 全体(平均)	3.7	3.7



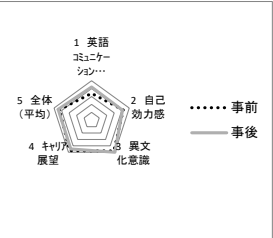
【参加者I】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.6	3.4
2 自己効力感	2.7	3.5
3 異文化意識	4.8	5.0
4 キャリア展望	3.0	2.0
5 全体(平均)	3.3	3.5



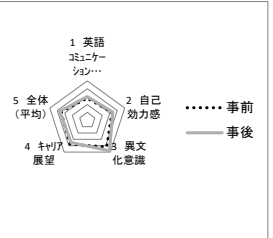
【参加者J】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	4.2
2 自己効力感	4.2	4.1
3 異文化意識	4.8	5.0
4 キャリア展望	4.8	4.5
5 全体(平均)	4.3	4.5



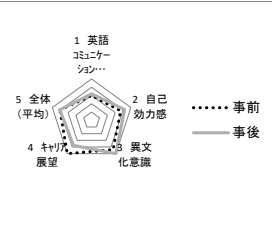
【参加者K】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.0
2 自己効力感	3.3	3.4
3 異文化意識	4.2	4.8
4 キャリア展望	3.8	3.5
5 全体(平均)	3.5	3.7



【参加者L】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.0	3.2
2 自己効力感	3.7	4.2
3 異文化意識	4.4	5.0
4 キャリア展望	5.0	3.8
5 全体(平均)	4.0	4.0



【参加者M】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	2.4
2 自己効力感	3.5	3.7
3 異文化意識	4.4	4.8
4 キャリア展望	4.5	4.0
5 全体(平均)	3.7	3.7

